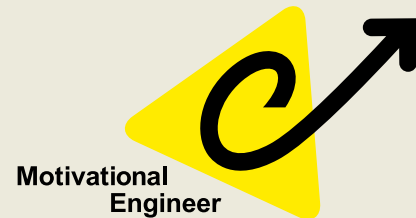


# CLINKS TELEWORK

2016年からテレワークに  
取り組んだ5年間の活動内容



# CLINKS株式会社について



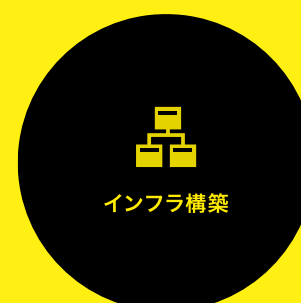


# 現在CLINKSの社員数

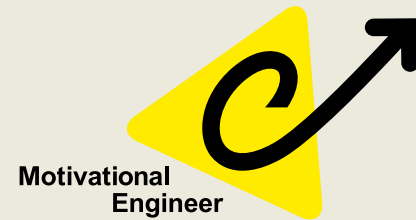
## 793名 / 連結1,001名

(2021年7月1日現在)

## 事業内容



# テレワークの現状



# テレワークを経験した社員割合

※2021年7月時点

※交代制の出社等で1~2割の出社は含めずカウント



本社・拠点勤務スタッフ

100% (計33名)



ソフトウェア開発部門社員

100% (計31名)



ゲーム系開発部門社員

100% (計26名)



インフラ系社員 (常駐・派遣)

68% (計328名)



テレスタ社員

100% (計70名)

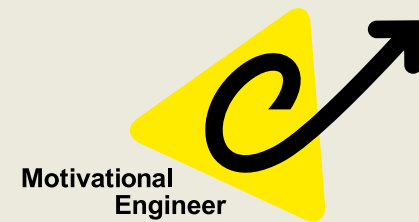
全社で8割以上の社員が  
テレワークを経験することになった

現在は70名の  
在宅エンジニアを社員雇用

在宅エンジニアが  
テレスタのサービスを通して  
全国の企業へ技術提供を行っている



# テレワークを進めた背景



01

そもそも**通勤時間**が  
非常にもったいないと考えていた

02

**私自身実質在宅ワーク**であった

03

ITエンジニアの人材不足の状況が  
**慢性化・深刻化**していた





# 在宅なら業務可能

介護・育児などの事情で通勤が難しい  
元エンジニア・専業主婦、地方で仕事  
が少ない現エンジニアなど、  
まだまだ豊富な人材が存在する  
既に一部の業務はオフショアや  
個人事業主などに発注していた

# ただし発注元に次のような課題が存在

- オフショアや業務委託の準備といえる業務の切り分け
- 作業（発注に必要な仕様書類の精度が求められる）が困難、管理者にとって高工数
- 業務の進捗状況が把握しにくい
- 検品（納品）作業が高負担
- 仕様変更や状況の変化に対して柔軟な対応が困難

# 結果

エンジニアは現場に常駐  
or  
派遣という勤務スタイルが定着  
高需要が続いている

そこで、在宅でもオフィスに居るのと  
変わらない環境があれば

在宅派遣、テレワークは  
可能ではないか？



## 2016年10月

- テレワークプロジェクトを発足
- 同時に社内でテレワークのトライアル開始



## 2017年7月

- 在宅エンジニア社員の採用開始



## 2017年8月

- テレスタのサービスをスタート  
(当初はオフィスレススタイル)

# しかし、 スタートダッシュは非常に厳しかった

## 経験がない

- ▶ 新たに発注するのに今までやったことのない  
在宅という形態には不安がある

## セキュリティ上厳しい

- ▶ 会社のセキュリティポリシー上不可能

## 面前でのリアルなコミュニケーションに 絶対の信頼を置いている

- ▶ わざわざそれを変えるほどのニーズはない



話しを聞いてもらえることも少なく、  
結果これまでと同様に  
現場での常駐を求められる  
また、社内でもなかなか浸透しない

本社の引っ越しを機にフリーアドレスを  
導入、テレワークを推進するため  
制度や支援策などをスタートさせた

各部署毎にノルマを設定(2割程度)

少しずつ導入が進んだが  
ノルマを超えることはなかった……

# 当時のテレワークに対する印象

管理者側

出社しないと仕事できない＝思い込み

在宅により少しでも  
自分の負担が増えることを敬遠

在宅でちゃんと仕事をしてくれるか不安



# 当時のテレワークに対する印象

## 従業員側

在宅で仕事をしたいが在宅だと  
さぼってると思われるのが嫌

同様に怠けたいから  
在宅を希望したと思われるのが嫌

家族と同居のため在宅ワークをしづらい

営業や採用など、自社以外との  
接点が多い仕事は相手の理解が必要





# 実際やってみると……

01

通勤時間が削られるのが何より良い  
自由に使える時間が増え、**仕事の生産性も向上した**

02

チャットなどの活用が進み、多人数での仕事では、  
ログが取れて便利になり、**効率が上がるケースも増えた**

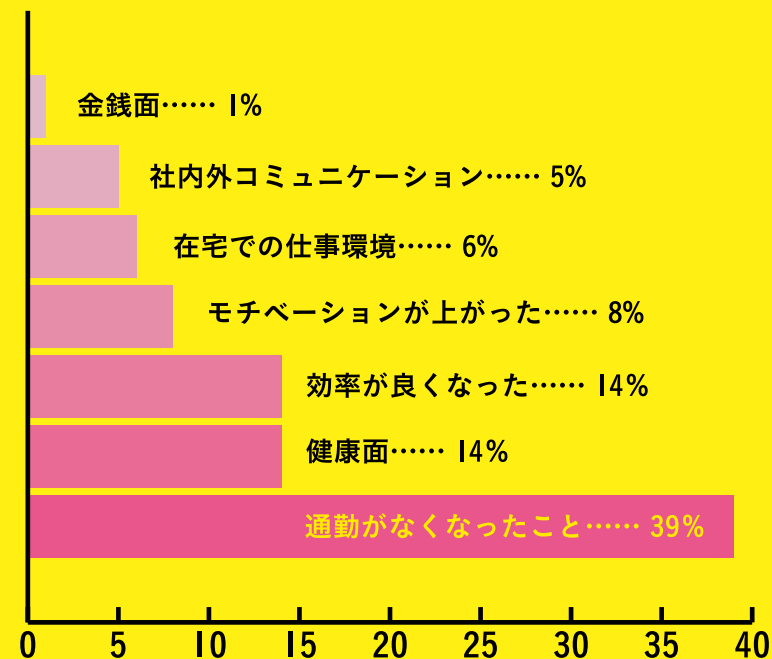
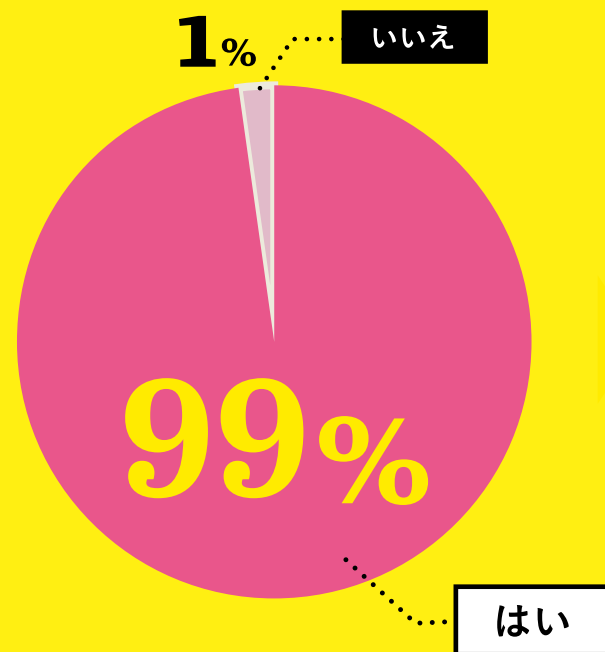
03

Web会議ツールなどを常時接続している場合は、  
**プライバシーの問題や監視されている**ような状況が  
生まれた

# CLINKSで行った 在宅ワークアンケート結果

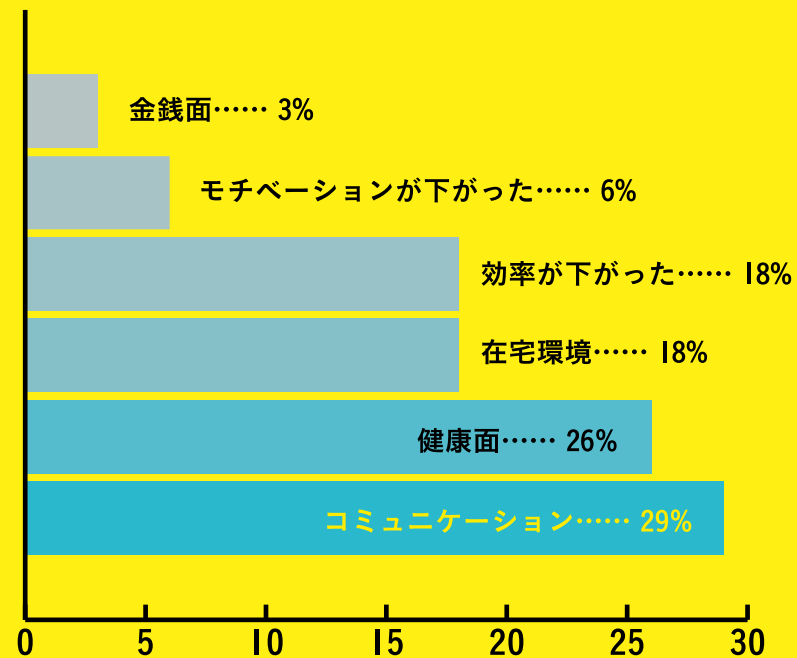
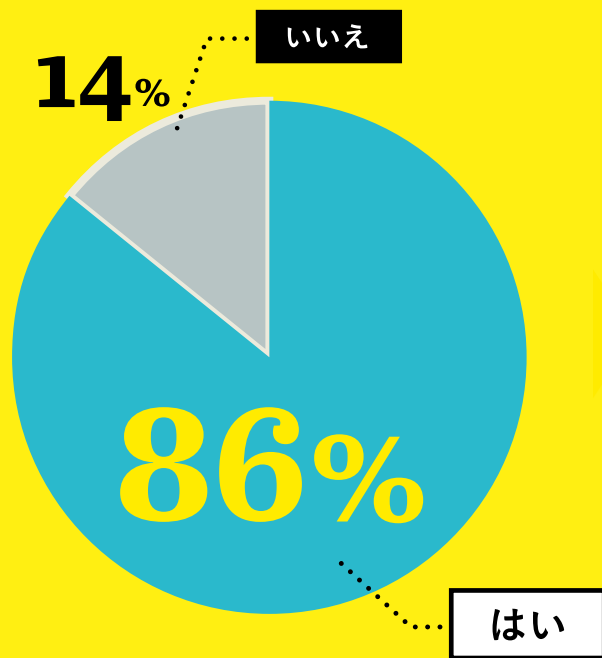


# 在宅ワークでメリットを感じたことがある



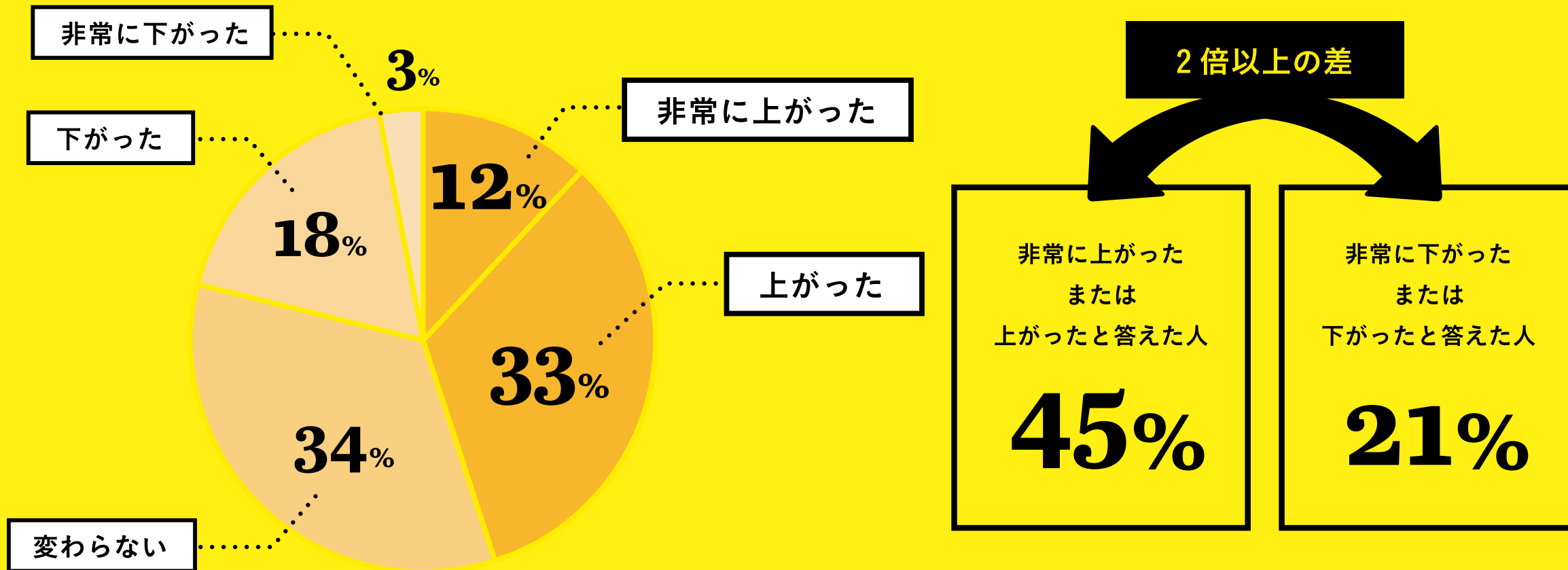
- 通勤時間を睡眠やプライベートの時間に当てられるようになった
- 三食しっかり食事が取れるので、体調面がとても良くなった
- 会議のための移動や場所の確保が不要になった
- 家族との距離が縮まってモチベーションアップにつながった
- 椅子やデスクなど自分に合った環境が良かった
- 対面でないぶん、細かな連絡を取るようになった

# 在宅ワークでデメリットを感じたことがある



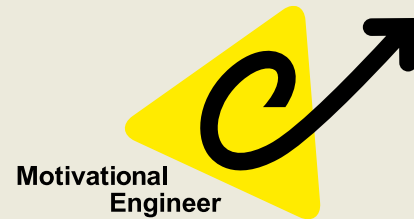
- 新入社員とのコミュニケーションを取りづらかった
- 作業部屋がなく、家族や子供がいるためやりにくかった
- 誰とも会話をしないことから仕事のモチベーションが下がった
- 家に籠りきりになるので運動不足になる
- 他担当の進捗把握が難しい
- 光熱費、通信料、電話料金が自己負担

# 在宅ワークでの生産性向上率



緊急事態宣言後の2020年4月7日から5月25日までの間、在宅ワークを実施した CLINKS 社員 488 名によるアンケートより

# アンケート結果から 課題を探り対策を練る



会議の  
セッティングが  
面倒

コミュニ  
ケーションが  
取りづらい

労務管理が  
大変

メンバーの  
状況が  
分からない



**ZaiTark**

**ZaiTarkですべて解決できました！**

# ZaiTarkは すぐに使えて 操作も簡単!

## POINT 1

### ワンクリックで通話

- 業界初!ひそひそ機能で会議中でも1:1で会話ができる
- 通話のための事前準備がいない
- 会議の途中で他のメンバーを呼び出すことができる
- 音声通話・ビデオ通話を選べる

## POINT 2

### メンバーの様子が一目でわかる

- メンバーの画面キャプチャを30秒毎に更新して表示誰と誰が通話中かが一目でわかる
- ステータス表示で休憩中もすぐにわかる
- コメントで今の状況をメンバーにお知らせできる

## POINT 3

### 勤怠管理もサポート

- 画面キャプチャ表示により社員の状況を見える化
- 勤務地・出勤・退勤・休憩時間を表示
- 各種ステータスや出退勤時間を記録
- 記録したデータはCSVでまとめて出力可能



# ZaiTarkの使用画面

経営企画室

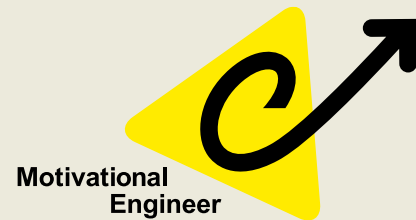
名前を入力して検索...

ビデオ通話

マウスオーバーでボタンが表示されワンクリックですぐつながる！

前田 坂爪 Bi 加藤 好本 平尾 戸坂 松本 沢 河原

テレワーク推進のために  
行ってきたこと



# CLINKSの支援制度一覧

- 在宅勤務者向け家具・モニター購入補助
- オンラインコミュニケーションスペースの用意
- オンラインコミュニケーション手当の導入
- 勤務時間の選択制度の導入



# オンラインイベント一覧

- 2020、2021年度新卒歓迎会
- オンラインヨガ教室
- すべらない話大会
- GeoGuessr大会
- オンライン夏の怖い話大会
- 集え！画伯共の藪 in BAR LOG CLINKS Zoom
- ZOOMお花見
- WEBワンナイト人狼
- オンラインボードゲーム大会
- ハロウィンイベント2020！
- オンライン七夕祭り



テレワーク推進による

生産性の向上と

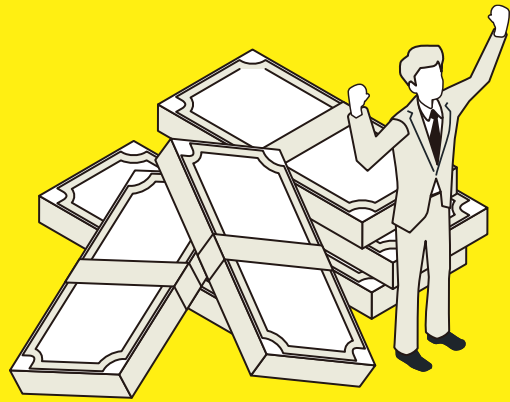
交通費などのコスト削減により

年間**6,000**万円超のコスト削減に成功

テレワーク協力感謝一時金

として、一人当たり一律

**5万円を支給**



# テレワークを 日本の働き方のスタンダードへ

CLINKSではテレワークを日本の働き方のスタンダードにするべく、  
今後も『在宅勤務制度導入』や『在宅専門社員採用による働き方改革・雇用促進』  
『在宅エンジニア派遣』など各種テレワークサービスの提供へ取り組んでいきます。